

大阪関西万博2025

国際来場者分析レポート

作成日: 2025年8月22日

1. エグゼクティブサマリー

大阪関西万博2025は2025年4月13日に開幕し、7月26日時点で累計来場者数が13,661,248人に達しました。国際来場者は全体の約12-13%を占め、特に東アジア地域からの来場者が多数を占めています。

主要統計

- 総来場者数（7月26日時点）: 13,661,248人
- 目標来場者数: 28,200,000人
- 国際来場者予測: 3,500,000人 (12.4%)
- 1日平均来場者数: 約155,000人

2. 国別来場者統計

国際来場者の内訳では、中国が最大の来場国となっており、台湾、香港が続いています。

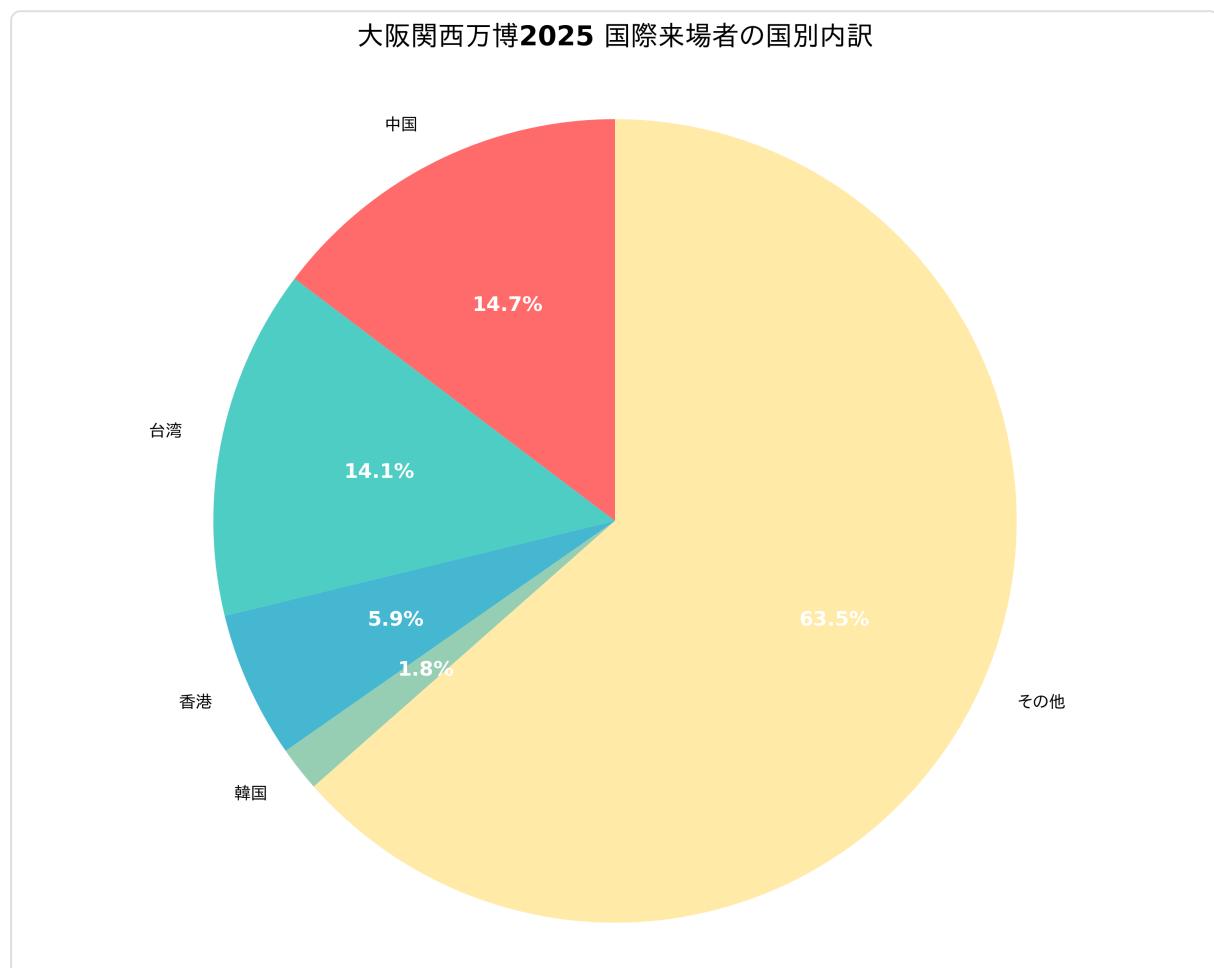


図1: 国際来場者の国別内訳

主要来場国詳細



中国

国際来場者の14.7%を占める最大の来場国。推定来場者数は約504,000人。



台湾

国際来場者の14.1%。推定来場者数は約329,000人。



香港

国際来場者の5.9%を占める重要な来場地域。



韓国

国際来場者の1.8%。韓国パビリオンが特に人気。

3. 来場者数推移

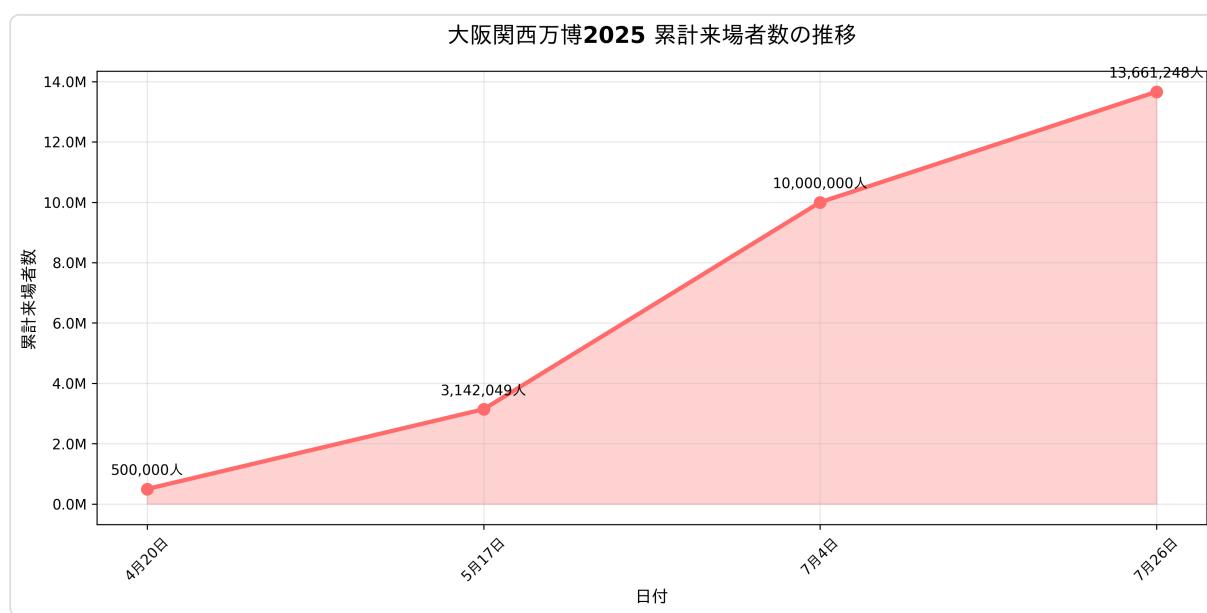


図2: 累計来場者数の推移

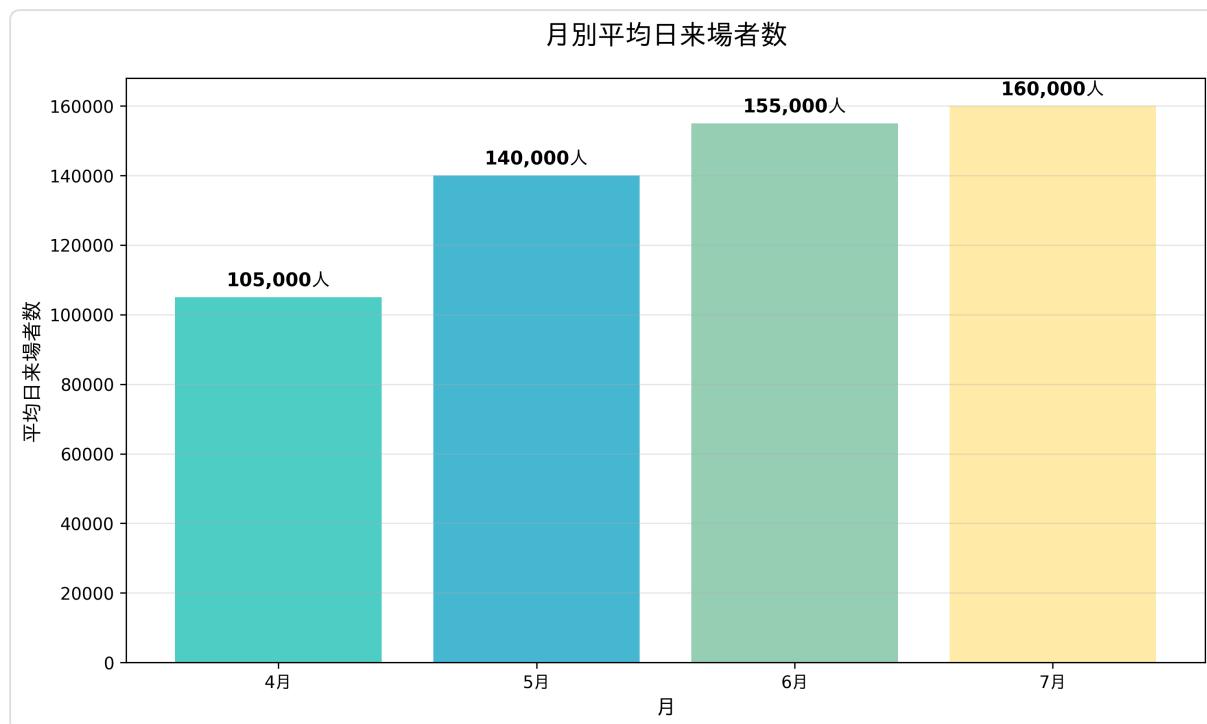


図3: 月別平均日来場者数

4. 国別来場者の反応・コメント

中国系来場者の反応

「日本は2050年に生きている。文字通りゴミを水と電気に変えている」

中国系来場者は万博を単なる祝典としてではなく、批判的分析の対象としても捉えており、複雑な認識を示している。

韓国系来場者の反応

「韓国パビリオンは『近未来的』な展示で、没入感のある空間デザインが特徴」

「韓国文化に興味のある人にとって『必見の空間』として評価」

ヨーロッパ系来場者の反応

ドイツパビリオン: 来場者数100万人を突破し、「革新、創造性、団結の象徴」として評価

ベルギーパビリオン: 「列の最後まで肘掛け椅子がある」独特な特徴で称賛

課題: 言語の壁があり、日本人スタッフが英語を話すことを躊躇する場合がある

その他アジア地域の反応

台湾・香港・シンガポール: チケット検索数が高く、FacebookやSNSを通じて強い関心を示している

5. 全体的な来場者満足度



主な評価ポイント

✓ 高評価ポイント

- 「ビッグルーフリング」展示が国際来場者から特に高い評価
- 「驚愕の技術」への言及
- ヨルダンパビリオンが来場者満足度調査でトップ評価
- 158カ国が参加する多様な国際環境

⚠ 改善点

- 入場ゲートでの長時間待機（最大1時間）
- 予約システムの複雑さ
- 多言語サポートの不足
- ドバイ万博2020との比較で「物足りない」との声

6. 今後の展望

万博は2025年10月13日まで開催予定で、目標来場者数28,200,000人の達成に向けて順調に推移しています。国際来場者の増加傾向は継続しており、特に東アジア地域からの来場者が万博の成功に大きく貢献しています。

最終予測

- 最終来場者数: 28-36百万人
- 国際来場者: 約350万人 (12%)
- 残り期間での1日平均来場者数: 約155,000人

本レポートは2025年8月22日時点の公式データおよび来場者調査に基づいて作成されました。

データソース: 大阪関西万博公式サイト、各種来場者調査、国際観光統計